

一般質問



工藤 秀子 議員

質問1 水銀灯のLED化に関する町内会等からの要望状況は

市長 51団体から新設23灯、改良599灯の要望があがっている

問 市役所より、水銀に関する水俣条約の採択に伴い、2021年より水銀灯（ランプ）の製造・輸入が禁止、供給量も減少することが予想されることから、当該ランプを管理している各町内会・自治会は、計画的にLED化を進めるようにと通知がありました。

そこで、市内の町内会・自治会の要望状況と市としての今後の考え方をお知らせください。

答（市長） 市では、本年9月に令和4年度予算に係る街灯施設等補助金の要望調査を行った際、水銀灯（ランプ）の製造・輸入禁止に伴い、今後、供給が次第に少なくなるのが予想されるため、計画的にLED化を進めていただくよう通知をしており、これに対し、51団体から新設23灯、改良599灯の要望があがっています。

市としての今後の考え方については、令和4年度の改良要望灯数が、今年度の約2倍となっていますが、可能な限り要

望に添えるように予算を措置し、町内会・自治会の計画的なLED化の推進を後押ししてまいりたい。

問 街灯施設等補助金の補助率について、町内会等の規模が小さくなってきており、町内会等の負担も大変だと聞いていますが、全額補助とはならないのか。

答（副市長） 厳しい財政状況の中、選択と集中という考え方で予算編成しており、実現できるかどうか検討してまいりたい。



町内会で管理している水銀灯

質問2 指定福祉避難所の設置状況は

市長 現在、9法人27施設を福祉避難所に指定しています

問 今年7月～8月にかけて、記録的大雨により、特別警報が出され、河川の氾濫、土砂災害を余儀なくされ、各地の被害が報道されました。

当市でも、11月2日～3日に大雨警報（洪水・土砂災害）が発令され、指定された地域に避難指示が出され、開設した避難所には、避難者も来られたと報告が

ありました。

当市では、防災計画等で備蓄品や災害対応資機材は確保されていると思います。指定福祉避難所の設置状況と避難行動要支援者対策の状況をお知らせください。

答（市長） 福祉避難所については、平成30年に福祉避難所設置運営マニュアルを策定し、説明会を実施した上で、ご理解をいただいた社会福祉法人等と協定を締結し、福祉避難所に指定しており、現在、9法人27施設あります。

避難行動要支援者対策の状況については、東日本大震災の教訓を踏まえ、平成25年に災害対策基本法が改正され、市町村に避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられました。

本市でも、独自の基準で名簿の作成を行うとともに、「自主防災組織結成の手引き」を策定し、自主防災組織の協力の下、個別避難計画の策定を進めてきたところです。

しかしながら、いまだに災害により、多くの高齢者が被災する事例が多くあることから、避難の実効性をさらに確保するため、災害対策基本法が改正され、個別避難計画の策定については、市町村の努力義務とされたことから、本市でも改めて自主防災組織の拡充を進めており、現在、防災連絡会議との連携の下、4町

会と協議を進めています。

また、要配慮者利用施設等の施設管理者を含め、市内事業者に対しても、協働により、防災訓練の実施や物資等の備蓄、避難行動要支援者の避難体制の構築など、自主的な防災活動の推進に努めていただくなど、あらゆる方面から地域の防災力向上に努めてまいりたい。

問 一般の指定避難所から福祉避難所に移送する判断は誰がするのか。

また、福祉避難所への移送は市の職員がするのか。

答（総務課長） 基本的には一般の指定避難所が開設された段階で、市の保健師が各指定避難所を回り、判断しています。

福祉避難所へ職員が送迎するのは厳しいため、基本的には各自で移動をお願いしていますが、その他、福祉避難所側で送迎する等の方法を取る場合もあります。



指定福祉避難所
「社会福祉法人函館緑花会美ヶ丘敬楽荘」